



# 東京 ドキュメンタリー 映画祭 2022

Tokyo Documentary Film Festival 2022

2022 12.10 SAT ▶ 12.23 FRI

新宿 K's Cinema

長編コンペティション審査員 伊勢真一 / 鈴木一誌  
短編コンペティション審査員 船橋淳 / 渡辺勝之  
人類学・民俗映像審査員 市岡康子 / 北村皆雄

パンデミックを超えて  
いま、ふたたび  
祝祭のとき!



5年目の今年は2週間に拡大! 投票で選ぶ「観客賞」もあります

ARTS COUNCIL TOKYO



芸術文化振興基金

東京ドキュメンタリー映画祭も5回目を迎えます。今年も「短・中編」「長編」「人類学・民俗映像」の各コンペティション部門から厳選された作品のほか、暗黒舞踏などの特別上映、さらに独自の文化が色濃く残るパプアニューギニア関連の作品を特集として上映します。現代社会ならではの生きづらさや先の戦争の傷あと、地域の暮らしや家族との葛藤などを粘り強く見つめた、作り手の真摯な姿勢が目立つ今年のプログラム。記録性や事実性をベースに、それぞれの“物語”へと飛躍するドキュメンタリー映像の魅力や奥深さを、この映画祭で皆様と分かち合えれば幸いです。

金子遊・佐藤寛朗 (プログラム・ディレクター)

## 長編部門コンペティション

長編・短編部門のコンペティション上映作品は、お客様の投票による「観客賞」の対象となります



### 1 東京大空襲

12.10[土] 10:00-  
12.20[火] 11:50-

※本プログラムは長編『ペーパー・シティ』と短編『遺言』～呉服店 二代目が七十六年、思い続けること～をあわせて上映いたします。

1945年3月の東京大空襲から77年。『ペーパー・シティ』は、大空襲の生存者たちの証言の記録映像にとどまらない。彼ら彼女らの反戦の思いが、2015年の安保法制への反対行動につながる様を描く。海外の資本を得て、映像美で魅せる傑作。下町の呉服屋の2代目が、空襲と家族の記憶を振り返る短編『遺言』を併映。

『Paper City/ペーパー・シティ』 監督=エイドリアン・フランス/2021年/80分  
『遺言』～呉服店二代目が七十六年、思い続けること～ 監督=清水亮司/2022年/28分



### 2 標的

12.10[土] 12:20-  
12.19[月] 12:30-

朝日新聞記者・植村隆は1991年8月、元慰安婦だった女性の証言をスクープ。それから23年後、記事は植村の捏造だとするバッシングが右派の論客から始まる。その背景には慰安婦問題を歴史から消し去ろうとする国家の思惑があった。圧力をかけられながらも、立ち上げる植村と市民たちの姿を通し、日本の「負の歴史」の深淵に迫る力作。

監督=西嶋真司/2021年/99分



### 3 そしてイスラの土となる ～日系キューバ移民の記録

12.10[土] 14:30-  
12.20[火] 16:15-

1910年代、サトウキビ農園労働者として多くの日本人がキューバへと渡った。移民たちは、戦時中の強制収容、キューバ革命などを乗り越え、激動の20世紀を懸命に生き抜いていく。「最後の日系キューバ移民一世」といわれた島津三一郎や日系二世らが、異郷の島(イスラ)から故郷日本への思いを語る。

監督=鈴木伊織/2021年/80分



### 4 アダミアニ 祈りの谷

12.11[日] 10:00-  
12.22[木] 16:10-

チェチェン紛争で「テロリストの巣窟」と汚名を着せられたジョージア東部・パンキシ渓谷で暮らす、キストと呼ばれるイスラム教徒の人々を3年間に渡り記録した作品。美しいコーカサスの山々を背景に、二人の息子をイスラム国に取られ喪った母親や、そのいとこの元戦士など、心に傷を抱えながらも故郷を復興させようと懸命に生きる姿を描く。

監督=竹岡寛俊/2021年/120分



### 5 霧が晴れるとき

12.11[日] 12:30-  
12.20[火] 10:00-

第2次世界大戦中、死者6000人を超える激戦でありながら、戦後は忘れ去られたアリュシャン列島アツツ島・キスカ島の戦い。日米の遺族や島の先住民アリュート人にとって、この戦いはどんな意味を持つのか。残骸の眠る現地訪問や、奇跡的な交流を通してみえてきた“終わらない物語”を、10年の歳月をかけて描く。ナレーションは長谷川博己。

監督=小川典/2020年/80分



### 6 オーディナリー・ ライブ

12.12[月] 10:00-  
12.17[土] 10:00-

視覚障害者の男性2人の音楽ユニット、ズーウェイとアジェを、それぞれのパートナーとの普通の生活をカメラは追う。魅力的な二組のカップルの微笑ましくも羨ましくも感じさせる暮らしぶりが観る者にコロナ禍以降の生活に必要なコミュニケーションが何かを教えてくれる。盲導犬アランに注目。

監督=魏鵬鶴(ギ・ホウカク)/2021年/75分

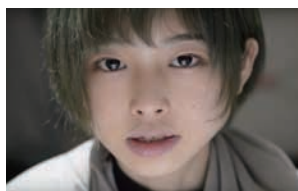


### 7 マエルストロム

12.12[月] 11:45-  
12.17[土] 11:45-

2002年、ニューヨークの美大を卒業したばかりの“私”は、突然事故に遭い、帰国を余儀なくされる。障害を負い、大混乱(マエルストロム)の日々の中で、やがて“私”は、それまでとは全く変わった日常の記録を始める。家族との葛藤や、事故前求めていたアートとの繋がり…。様々な別れと出会いを経ながら、自身が着実に再生してゆく過程を記録した、魂のセルフ・ポートレート。

監督=山岡瑞子/2022年/79分



### 8 DAYS

12.12[月] 13:35-  
12.17[土] 16:10-

摂食障害をテーマに作品を撮り続ける監督と、21歳で摂食障害に悩むミキさん。ふたりが5日間をミキさんの部屋で過ごし、摂食障害の現実を知ってもらうため、過食、嘔吐、身体の変容など彼女に起きるできごとを記録する。母との愛憎、高校のバスケット部と不登校、自殺未遂の過去…。彼女が漏らす言葉に真実の輝きがある。

監督=藤本純矢、未紀/2022年/120分



## 9 ポラン

12.15[木] 10:00-  
12.18[日] 16:15-

2021年2月、東京都・大泉学園の古書店「ポラン」が惜しまれつつ閉店した。カメラは開店からの軌跡、刻々と迫る閉店までの日々と店舗の解体、閉店後の店主たちの足取りを追う。その過程で、さまざまな物語を引き付けていた「磁場」としてのポランの魅力が浮かび上がり、閉店の悲しみはありつつも、鑑賞後は不思議なあたたかさを覚える。

監督 = 中村洸太 / 2022年 / 74分



## 11 目の見えない白鳥さん、アートを見に行く

12.15[木] 14:00-  
12.18[日] 13:55-

©ALPS PICTURES

全盲の白鳥建二さんの趣味はアート鑑賞。「全盲でもアートを見ることはできるのかも」と美術館を訪れるうちに、いつの間にか「自由な会話によるアート鑑賞」という独自の方法を編み出した。アートを巡り旅をする白鳥さん。彼の姿に、偶然の出逢いがもたらす可能性と、アートが持つ力を見出すことができるだろう。

監督 = 三好大輔、川内有緒 / 2022年 / 107分



## 10 カービング・ザ・ディバイン 仏師

12.15[木] 11:50-  
12.18[日] 11:45-

仏師・関伏雲の元に弟子入りを志願する者がやってくる。19歳で仏師の道に入った伏雲は、この道の扉を叩いた者たちに、その心構えと技術を伝えていく。厳しい修行のもと、造りだされる仏像たち。知られざる仏師の世界を切り取ったドキュメンタリー。

監督 = 関勇二郎 / 2021年 / 98分

### 短編部門コンペティション

長編・短編部門のコンペティション上映作品は、お客様の投票による「観客賞」の対象となります



## 1 小さき声の抵抗

12.10[土] 16:20-  
12.19[月] 14:35-

サケを捕獲する“先住権”を求めて立ち上がるアイヌの人々を描く『サーモンピープル』。震災と原発事故から11年、苦勞を振り返りながらも前を向く住民の声を集めた『福島からのメッセージ』。自衛隊ミサイル基地建設に反対しながらも、(ハルサー) 農民として独自の生き方を模索する石垣島の青年たちを追った『若きハルサーたちの唄』。流動化する社会で、土地に根づいて生きる人々の姿をとらえた3本。

『サーモンピープル ～アイヌ“先住権”を求めて～』 監督 = 寺田和弘 / 2021年 / 24分  
『福島からのメッセージ - それでも、私たちはここで生きていく -』  
監督 = 蟹江節子 / 2022年 / 28分  
『島がミサイル基地になるのか 若きハルサーたちの唄』  
監督 = 湯本雅典 / 2021年 / 60分



## 2 戦禍の爪あと

12.11[日] 14:20-  
12.20[火] 14:10-

77歳になってなお日本への帰国を望む、未認定の中国残留日本人孤児を追う『望郷』。韓国の従軍慰安婦問題に触発され、尊厳の回復を求め声を上げながら、今なお心の傷を抱える「ピランガナ」(バングラディッシュ独立戦争の性被害者)の女性たちを撮った『待ちのぞむ』。歴史に翻弄されることの残酷さと、その中を生き延び、生き続けることの意味を問う2本。

『望郷』——未認定中国残留孤児 鄧鳳琴の物語』  
監督 = 劉聡 (リュウ・ソウ) / 2022年 / 29分  
『待ちのぞむ』 監督 = セ・アル・マムン / 2021年 / 60分



## 3 高校生たちのエモーション

12.11[日] 16:25-  
12.21[水] 16:50-

甲子園を目指し全国から集まった北海道小樽・北照高校の野球部員たちに待ち受ける運命を描く『北照ドキュメンタリー-2021【誇り】』。わずか4人で「走れメロス」を題材にした劇を上演する島根の分校の演劇部員が起こした奇跡の物語「走れ!走れ走れメロス」。部活に打ち込む高校生と顧問の先生との間で繰り広げられる、想像のはるか上をゆく青春ドラマ。

『北照ドキュメンタリー-2021【誇り】』 監督 = 森田浩行 / 2022年 / 36分  
『走れ!走れ走れメロス』 監督 = 折口慎一郎 / 2022年 / 53分



## 4 地域に生きる

12.12[月] 16:05-  
12.21[水] 12:20-

鳥取県の山奥にひとり暮らしする老夫の生活や人生の歩みを記録した波田野州平の「現時点プロジェクト」シリーズ新作『私はおぼえている: 竹部輝夫さんと中津の記憶』と、「共生」をテーマに作品制作を続けてきた飯田基晴が、精神障害を持つ人々のグループホームでの日々や、施設反対運動の実像に迫る『不安の正体』。人の暮らしと周囲の状況を丁寧に捉えた映像で問う「われわれの世界」。

『私はおぼえている: 竹部輝夫さんと中津の記憶』 監督 = 波田野州平 / 2021年 / 37分  
『不安の正体 精神障害者グループホームと地域』 監督 = 飯田基晴 / 2021年 / 65分



## 5 切りひらく女性たち

12.14[水] 10:00-  
12.17[土] 13:35-

セネガルのスラム街で生きる女性たちの自立を促す活動の記録『ディンデフェロ』。愛媛県今治市で、ご近所の“ともしび”としてお好み焼きを焼き続ける女主人を描く『ともしび』。ガーナ人の両親を持ち日本で育った馬瓜エブリンが、バスケットボール女子日本代表として銀メダルを獲得するまでの13年間に密着した『東京の日の丸』。女性の貧困、地域コミュニティ、人種差別など、それぞれの局面で切りひらく女性を描いた3編。

『ディンデフェロ』監督=ヤン・イェックレ/日本語版 2021年/14分  
『NNNDキュメント22 ともしび-今治大浜一丁目17年の記録』  
監督=寺尾隆(南海放送報道部)/2022年/46分  
『メ-レドキュメント 東京の日の丸』監督=村瀬史恵、服部倫子/2021年/60分



## 6 看取りの時間

12.14[水] 12:30-  
12.19[月] 16:55-

限られた命と向き合う時に人は何を思うのだろうか。余命わずかである父の肉声を子に残すためカメラを回し始めた親子の対話『松の樹の下で』。母の末期ガンを宣告された監督が相談相手として生み出したAIの友人「ジェームズ」との会話『火曜日のジェームズ』。死と生の間を行き来する中国の献体コーディネーターの仕事を追った『会者定離』。日常の延長にある「死」を見つめる3本。

『松の樹の下で - Under the Pine Tree』監督=国本隆史/2021年/20分  
『火曜日のジェームズ』監督=ディーター・デズルデ/日本語版 2021年/24分  
『会者定離』監督=李雄(リ・ユウ)/2021年/46分



## 7 男の履歴書

12.14[水] 14:30-  
12.21[水] 14:35-

寂れゆく故郷を盛り上げようと、アマチュアプロレス集団を立ちあげたサムソン宮本の奮闘と闘病を描く『無理しない ケガしない 明日も仕事〜新根室プロレス物語〜』。一家離散の原因となった父親の末期ガンを機に、監督が家族の再生を試みる『暴力親父 余命4ヵ月 憎しみと愛の狭間で。』人生のカウントダウンを告げられた時、人は何を求めるのか？

『無理しない ケガしない 明日も仕事 ~新根室プロレス物語~』  
監督=湊寛、堀威/2021年/45分  
『暴力親父 余命4ヵ月 憎しみと愛の狭間で。』監督=清藤裕貴/2021年/60分



## 8 アートのある暮らし

12.15[木] 16:20-  
12.21[水] 10:00-

彫刻作品が並ぶ公園で遊ぶある夏の日を記録した『ある日のアルテ』。歌を失いかけた音楽家・太田美帆の日常を見つめる『DAY』。チベットの伝統芸能を生徒たちに伝えようと奮起する若き教師を描く『弦胡琴の呼び声』。仙台のバンド「yumbo」から生まれる音と生活の風景を撮った『ロッツ・オブ・パース』。アートの中で暮らす人々の息遣いを感じる4本のドキュメンタリー。

『ある日のアルテ』監督=吉田孝行/2022年/14分  
『DAY』監督=井手内創/2022年/17分  
『弦胡琴の呼び声』監督=曹也傾(ソウ・ヤケイ)/2022年/35分  
『ロッツ・オブ・パース』監督=福原悠介/2021年/45分

## 特別上映



## 1 暗黒舞踏の世界

12.14[水] 16:45-

戦後日本から羽ばたいた芸術ジャンルの「舞踏」を再発見してみよう。『藤原 - Fujiwara』は国内外で活躍するダンサー木村由が限界集落の記憶と寄り添う舞いを楽しめる。土方巽の妻であった舞踏家を映した『元藤舞踏記録映画』では、秋田や恐山での作品からマニア必見のその稽古場面まで、このジャンルの原点を丸ごとみたい。

『藤原 - Fujiwara』監督=細田富臣/2022年/21分  
『元藤舞踏記録映画』監督=猪鼻秀一/2022年/75分



## 2 ワタシたちハニンゲンダ!

12.19[月] 10:00-

2021年春、名古屋入管でスリランカ人女性のウイシュマさんが33歳の若さで死亡した事件がメディアに衝撃を与えたことは記憶に新しい。戦時中に行われた朝鮮人の同化政策、戦禍に巻き込まれた在日朝鮮人の生活権利を巡る闘争、外国人技能実習生の環境や難民に対する入管の対応などに問題の根を伸ばして描く、日本の不寛容と未来を問う人々の姿を見つめる作品。

監督=高賛侑(コウ・チャニュー)/2022年/114分



## 3 チロンヌブカムイイオマンテ

\*審査員作品

12.23[金] 10:00-

アイヌ文化では熊送りの儀礼が有名だが、こちらは1986年に北海道の屈斜路湖で75年ぶりに行なわれたキタキツネのイオマンテを記録。映像民俗学を提唱する北村皆雄が35年のときを超えて完成した。日川善次郎エカシのアイヌ語の祈りを翻訳したのは、漫画『ゴールデンカムイ』のアイヌ語監修で知られる中川裕。

監督=北村皆雄/2021年(撮影:1986年)/105分



## 4 ルーペ

—カメラマン瀬川順一の眼—

\*審査員作品

12.23[金] 16:30-

戦前・戦中・戦後にわたりルーペを覗き続けたカメラマン瀬川順一を、『奈緒ちゃん』でコンビを組んだ監督の伊勢真一が記録したドキュメンタリー。封印された戦時中の従軍記録映画『戦ふ兵隊』で、監督の亀井文夫とカメラマン三木茂が交わした「ルーペ論争」の問題を、現場にいた瀬川は始終語り続ける。「カメラマンは、いないけど、いるんだ...」と。

監督=伊勢真一/1996年/90分

※上映後、伊勢真一によるトークを予定



## 1 それでも獅子は旅を続ける

～山本源太夫社中 伊勢大神楽日誌～

12.13[火] 10:00-  
12.22[木] 10:00-

近畿や北陸を旅してまわる伊勢大神楽。400年続くという旅の1年を記録。家々を訪ね、獅子舞で祝い、放下芸と呼ばれる芸能をして人々の幸福を願う。コロナ禍にも人々との交流が紡がれる。民族音楽学を専門とする作者と大神楽の人々の信頼関係を土台として紡がれた映像民俗誌。作者自身による語りやイラストも瑞々しい。

監督 = 神野知恵、山中由里子 / 2022年 / 89分



## 2 ウムイ「芸能の村」

12.13[火] 12:05-  
12.18[日] 10:00-

本作はスイス人作家の視点から沖縄の芸能を伝承する人々の誇りや生き様、葛藤を描いている。人口減少の危機の中で活動を継続し、琉球舞踊や三線とそれを取り巻く人々を描くことで、21世紀のこの地の芸能や風俗の現在形を記録する。美しい映像を通じ、初心者から愛好家まで入りやすく学べる語り口をもつ。

監督 = ダニエル・ロベス / 2022年 / 75分



## 3 祝祭のかがやき

12.13[火] 13:55-  
12.22[木] 12:05-

シチリア島において農民、漁民、カソリック教会が数ヶ月かけて準備し、古代から続く伝統が情熱的に表現される祝祭の数々。その模様を、ナレーションやインタビューを排したダイレクト・シネマの手法で見つめる実験的民族誌の傑作『ミステリーズ』。文様に注目してバリ島の祭儀を記録した短編『チュブック』を併映。

『ミステリーズ』監督 = ダニエル・グレコ、マウロ・マグリ / 2022年 / 71分  
『チュブック』カット文様に宿る魔除けの力  
監督 = TAMA MON 22—多摩美術大学文様研究プロジェクト、深津裕子 / 2017年 / 12分



## 4 シャーマンと芸能者 (人類学短編集)

12.13[火] 16:05-  
12.22[木] 14:15-

エチオピアで弦楽器マシニコを弾き語るアズマリが、即興的な場をたちあげる様をワンショットで撮った『吟遊詩人』。タンザニアの村で、痙攣する病気になった子どもを呪術の力で治癒する『呪術師の治療』。ウズベキスタンのアニミズム的な交霊術と、イスラームが融合した儀礼を記録する『交霊とイスラーム』の最新作3本。

『吟遊詩人 - 声の饗宴-』監督 = 川瀬慈 / 2022年 / 17分  
『呪術師の治療 - タンザニア』監督 = 松永由佳 / 2022年 / 25分  
『交霊とイスラーム: パフシの伝えるユーラシアの遺習』  
監督 = 和崎聖日、アドハム・アシーロフ / 2022年 / 37分

## 特集 パプアニューギニア



## 1 『クラ —西太平洋の遠洋航海者』 『ギサロ』

\*審査員作品

12.16[金] 10:00-  
12.23[金] 12:20-

人類学者マリノフスキーの著書で知られる、ニューギニア島のトロブリアンド諸島におけるクラ交易。カヌーに乗り、風を頼りに島々を渡りながら、貝殻でつくられた首飾りと腕輪を交易する人びとの姿をカメラにおさめた奇跡の1本。同島のカルリ族が着飾って歌合戦をし、歌手にヤケドを刻む儀礼を撮った『ギサロ』を併映。

『クラ - 西太平洋の遠洋航海者』  
監督 = 市岡康子 / プロデューサー = 牛山純一 / 1971年 / 67分  
『ギサロ』 監督 = 市岡康子 / 1987年 / 50分



## 2 裸族最後の酋長

—石器時代から現代までを生きた男

\*審査員作品

12.16[金] 12:35-  
12.23[金] 14:50-

ニューギニア島の西半分を占めるインドネシア領には、原生林が広がる盆地バリエム渓谷がある。そこは1954年に至るまで外部との接触がなく、石器時代の暮らしが続いていた。この山地で部族戦争を勝ち抜いてきたダニ族のウクメリック酋長の一代記を、本人の語りと再現ドキュメンタリーの手法で描く野心的な民族誌の試み。

監督 = 市岡康子 / 1982年 / 67分

※12/16は上映後、市岡康子によるトークを予定



## 3 森からの声

12.16[金] 14:20-

パプアニューギニアの山岳地帯で暮らすフリ族。その族長であるケパンガは、彼が生まれ育った原生林を歩き、森からの声を聞き取り、それをユーモラスかつ哲学的に語り、祖先からの警鐘を現代人に伝える。その背景には森林伐採が進むことへの危機感があった。人新世における現代ニューギニアを知る上で見のがせない傑作。

監督 = マルク・ドジエ、リュック・マレスコ / 2017年 / 85分

# TIME TABLE

2022 12.10 SAT ▶ 23 FRI

12/10 [土]	10:00 <b>長編1</b> (108分) 東京大空襲	12:20 <b>長編2</b> (99分) 標的	14:30 <b>長編3</b> (80分) そしてイスラの土となる～日系キューバ移民の記録	16:20 <b>短編1</b> (112分) 小さき声の抵抗
12/11 [日]	10:00 <b>長編4</b> (120分) アダミアニ 祈りの谷	12:30 <b>長編5</b> (80分) 霧が晴れるとき	14:20 <b>短編2</b> (89分) 戦禍の爪あと	16:25 <b>短編3</b> (89分) 高校生たちのエモーション
12/12 [月]	10:00 <b>長編6</b> (75分) オーディナリー・ライブ	11:45 <b>長編7</b> (79分) マエルストロム	13:35 <b>長編8</b> (120分) DAYS	16:05 <b>短編4</b> (102分) 地域に生きる
12/13 [火]	10:00 <b>人類学・民俗映像1</b> (89分) それでも獅子は旅を続ける	12:05 <b>人類学・民俗映像2</b> (75分) ウマイ「芸能の村」	13:55 <b>人類学・民俗映像3</b> (93分) 祝祭のかがやき	16:05 <b>人類学・民俗映像4</b> (79分) シャーマンと芸能者(人類学短編集)
12/14 [水]	10:00 <b>短編5</b> (120分) 切りひらく女性たち	12:30 <b>短編6</b> (90分) 看取りの時間	14:30 <b>短編7</b> (105分) 男の履歴書	16:45 <b>特別1</b> (96分) 暗黒舞踏の世界
12/15 [木]	10:00 <b>長編9</b> (74分) ポラン	11:50 <b>長編10</b> (98分) カーピング・ザ・ディバイン 仏師	14:00 <b>長編11</b> (107分) 目が見えない白鳥さん、アートを見に行く	16:20 <b>短編8</b> (111分) アートのある暮らし
12/16 [金]	10:00 <b>特集1</b> (117分) 『クラ -西太平洋の遠洋航海者』『ギサ口』	12:35 <b>特集2</b> (67分) 裸族最後の大酋長—石器時代から現代までを生きた男	14:20 <b>特集3</b> (85分) 森からの声	16:20 <b>各賞授賞式</b> (90分)
12/17 [土]	10:00 <b>長編6</b> (75分) オーディナリー・ライブ	11:45 <b>長編7</b> (79分) マエルストロム	13:35 <b>短編5</b> (120分) 切りひらく女性たち	16:10 <b>長編8</b> (120分) DAYS
12/18 [日]	10:00 <b>人類学・民俗映像2</b> (75分) ウマイ「芸能の村」	11:45 <b>長編10</b> (98分) カーピング・ザ・ディバイン 仏師	13:55 <b>長編11</b> (107分) 目が見えない白鳥さん、アートを見に行く	16:15 <b>長編9</b> (74分) ポラン
12/19 [月]	10:00 <b>特別2</b> (114分) ワタシタチハニンゲンダ!	12:30 <b>長編2</b> (99分) 標的	14:35 <b>短編1</b> (112分) 小さき声の抵抗	16:55 <b>短編6</b> (90分) 看取りの時間
12/20 [火]	10:00 <b>長編5</b> (80分) 霧が晴れるとき	11:50 <b>長編1</b> (108分) 東京大空襲	14:10 <b>短編2</b> (89分) 戦禍の爪あと	16:15 <b>長編3</b> (80分) そしてイスラの土となる～日系キューバ移民の記録
12/21 [水]	10:00 <b>短編8</b> (111分) アートのある暮らし	12:20 <b>短編4</b> (102分) 地域に生きる	14:35 <b>短編7</b> (105分) 男の履歴書	16:50 <b>短編3</b> (89分) 高校生たちのエモーション
12/22 [木]	10:00 <b>人類学・民俗映像1</b> (89分) それでも獅子は旅を続ける	12:05 <b>人類学・民俗映像3</b> (93分) 祝祭のかがやき	14:15 <b>人類学・民俗映像4</b> (79分) シャーマンと芸能者(人類学短編集)	16:10 <b>長編4</b> (120分) アダミアニ 祈りの谷
12/23 [金]	10:00 <b>特別3</b> (105分) チロンヌカカムイ イオマンテ	12:20 <b>特集1</b> (117分) 『クラ -西太平洋の遠洋航海者』『ギサ口』	14:50 <b>特集2</b> (67分) 裸族最後の大酋長—石器時代から現代までを生きた男	16:30 <b>特別4</b> (90分) ルーベールカメラマン 瀬川順一の眼—

監督による  
舞台あいさつを予定!

詳細は公式サイトや  
SNSでご確認ください

### 【映画祭事務局】

プログラマー：金子遊 佐藤寛朗 澤山恵次 若林良 吉田悠樹彦 津留崎麻子  
田淵絵美 井河澤智子  
顧問：矢田部吉彦  
人類学・民俗映像部門予備審査員：山上亜紀 遠藤協 金子遊  
メインビジュアル、フライヤーデザイン：三好通 フライヤー編集協力：菊井崇史  
WEBデザイン：古谷里美 パブリシティ：登山里紗  
主催：neoneo編集室  
後援：一般財団法人 宮本記念財団  
協賛：アジアドキュメンタリーズ、エトノスシネマ  
助成：公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、芸術文化振興基金  
協力：いせフィルム、グリーンイメージ国際環境映像祭

公式サイト：tdff-neoneo.com

ツイッター：@TDFE\_neoneo

フェイスブック：tdff.neoneo

主催：東京ドキュメンタリー映画祭事務局(neoneo編集室)

問合せメール：tdff.neoneo@gmail.com



【料金】  
1,500円均一(小・中・シニア 1,000円)

※ご鑑賞の3日前の0:00より、上映時間の30分前まで  
WEBでチケットをご購入いただけます。  
(特別鑑賞券の場合は窓口のみ対応)

【特別鑑賞券発売中!】

1回券 1,300円 3回券 3,300円(数量限定)

※WEB予約では使用できません。  
窓口にて指定席券とお引換えください。

新宿駅東南口階段下 甲州街道沿ドコモショップ左入

**新宿 K's cinema**

03 (3352) 2471 www.ks-cinema.com  
各回入替・全席指定席

東京都新宿区新宿3丁目35-13  
JR新宿駅 東南口 徒歩3分 東口徒歩5分

